

CONTENTS

- 2 Prelude
序曲
- 6 A Table Laid With Horrors
恐怖でセッティングされたテーブル
- 10 After Hagiwara
アフター・ハギワラ
- 12 A Clearing
拓かれた空間
- 16 Field Guide to Southern Virginia
南ヴァージニア版野外観察ハンドブック
- 22 amorous
惚れ込んで
- 24 Argosy for Rock and Grass
岩と草の宝物船
- 26 Faithfulness
信実
- 32 Entanglement
からみあい
- 38 Final Testament
最終書
- 40 To the Reader
読者へ
- 44 about Forrest Gander
- 46 about the Translators

To The Reader

Although you were looking for something else
in the mirror, you can't avoid the can you?
The wrinkles of sarcasm, the crow's-feet of insomnia,
and the bleary-eye of hesitation,
and the silent voice saying look what time it is, and your name, and why don't
you lie down
so you'll be rested for work tomorrow.
Then the dream snaps on.
And yet a distant hope keeps you standing on your feet. You are still
standing, aren't you? Although it is late now and the question you were asking,
Who am I, has become something different.
What is there?

How has the tactual amnion of habit failed
to protect you? Gone from yourself, you are not alone. Although when
you are gone,
you are not. And night discharges
itself into hills, into the river's fan gravel and swallow holes, mangrove
roots thickening around lost fish hooks. In the gas station
sign, Pegasus lights up and flickers out and lights up again
and muscles twitch in the attendant's jaw as he stars into the bay,
a timing chain part number on the slip of paper in his hand.
While stars flare and the waitress crumbs
the tablecloth, are you just opening again
to the lust to be filled with something? What is it? Around you,
the nameless, countless things hullabalooing in silence
sop up your looking at the very moment of contact, at the critical
instant when your line of sight, lifted from the mirror and gently set down
again

読者へ

鏡の中にほかのなにかを探していた
とはいえ、目に入ってくるだろう？
皮肉の皺、不眠の鴉の足跡、
躊躇の霞眼、
声にならない声と言う、何時なの、わたし、もう床について
明日も仕事がある休まないと。
そのとき夢にパチンと灯が点る。
それでも遙かな望みがあなたを佇ませる。今なおあなたは
佇んでいるだろう？ とはいえもう夜は深くあなたの問いは
わたしは誰、ではなくなってしまった。

そこにいるのはなに？

いったいどうして習性の触覚器的羊膜はあなたを
守りそこねたのか？ あなたのものを去って、あなたはひとりでない。とはい
えあなたが去れば
あなたはいないのだ。そして夜が扇状地に
流れ込む、砂礫へ盲谷へ、忘れられた
釣針のまわりに広がるマングローブの根へ。ガソリンスタンドの
看板、ペガサスがはばたくようにまたたいて、
顎の筋肉が脈動する従業員は、調時チェーンの部品番号を
記した紙片を手し、入江に見入る。
星たちはゆらめき、ウェイトレスがテーブルクロス
のパン屑を払う間、あなたはまたもや
欲望をなにかで満たそうとしているのか？ なにをもって？あなたの周りに、
名もない、数限りないものたちが音もなく喧々囂々と
吸込むのはあなたが接触するまさしくこの一瞬を目にするさま、
あなたの視覚の流れが、鏡から離れて回転する地球の
溝に

into a groove of the revolving earth, catches
and appearance pours out like frog song.

It was me, yes, following when you led and when you fell behind.
How long it took us to get here, we who
belong to this time in all its thin passages and in
its fullness. Only let me press my mouth to the back of your hand
before you move it from my face.

やさしく再着陸するとき、捉える転機の瞬間、
目に見えるものが蛙の歌のように注ぎ出す。

そう、わたしが、先行くにつれ遅れるにつれあなたの後を追っていたのだ。
ここまでたどりつくのにどれだけかかったことか、この上なく
細い道筋の豊かなこの時間を生きる
わたしたちが。今はただあなたの手の甲にくちづけさせてほしい
あなたがわたしの顔から手を離す前に。

吉田恭子 訳

about Forrest Gander

フォレスト・ガンダーは、1956 年、カリフォルニア州モハービ砂漠に生まれ、ヴァージニア育ち、ウィリアム・アンド・メアリー大学卒。大学で学んだ地質学は南部の風景とともに彼の作品に通底するモチーフだ。その後、サンフランシスコ州立大学大学院で英文学を専攻。メキシコ、アーカンソーを経て、ハーバード大学でブリッグス・コーブランド詩学教授を務めたのち、現在ブラウン大学英文科および比較文学科教授として「詩と現象学」、「環境詩学」、「ラテンアメリカの詩」、「翻訳理論と実践」などを担当している。ロックフェラー財団、米国芸術基金、グッゲンハイム財団、ハワード・ホワイティング財団のフェローシップを受賞している。同じく南部アーカンソー出身の妻 C. D. ライトも現代アメリカを代表する詩人である。

主な詩集には *Eye Against Eye* (2005)、 *Torn Awake* (2001)、 *Science & Steepleflower* (1998) (すべて New Directions) があり、散文作品には、長編小説 *As a Friend* (2008)、エッセー集 *A Faithful Existence* (2005) などがある。またラテンアメリカの現代詩を精力的に翻訳紹介するとともに、アラキ・ヤササ論など言語横断的な批評活動も行っている。訳詩集に『Coral Bracho 選詩集』(PEN 翻訳賞最終候補)、『Pura López Colomé 選詩集』、『Jaime Saenz 選詩集』等がある。彼自身の詩もフランス語、スペイン語、オランダ語等に翻訳されている。

学生時代日本語を学んだガンダーは、日本の古典文学・近現代詩の影響を受けた作品も多い。現代日本の都市をモチーフにした作品、俳句や近代詩、舞踏にインスパイアされた連作がある。